

平成 26 年度 シラバス

教科名(音楽) 科目名(音楽理論(1)) 副読本(改訂版 音楽通論[教育芸術社]) 単位数(2)

対象学年(1年生芸術教養コース音楽選択)

学習目標:音楽に関する基礎的な知識及び法則を習得させる。

学期	月	時数	累計	指導内容	備考
1 学期	4	6	6	記譜と読譜・・・音部記号(ト音記号、ヘ音記号)、音符と休符の長さ、反復記号、	・楽譜を書くこと読むことに慣れさせる。
	5 6	8	14	音名(日本語、英語、ドイツ語)、拍子(何分の何拍子など)	・リズムを実際にたたかせる
		6	20	発想・速さの記号 / 省略記号	・実際に楽譜を見ながら学ぶ。
2 学期	7	4	24	音程と音階(1)・・・音程(展開を含む)と音階 聴音	・キーボードで実際に弾かせる。
	9	8	32	音程と音階(2)・・・音階と調性 聴音	・キーボードで実際に弾かせる。
	10	6	38	音程と音階(3)・・・近親調、転調と移調 聴音	・キーボードを利用し実際に弾かせる。
	11	8	46	コードネームについて(1)・・・長三和音、短三和音、増三和音、減三和音 聴音	
3 学期	12	6	52	コードネームについて(2)・・・セブンスとナインス、オーグメント、サスフォー 聴音	・演奏・鑑賞をすることで理解できるようにする。
	1	4	56	楽式について 聴音	
		2	8	64	
	3	6	70	世界の作曲家について	

*学期は評価対象の月のまとまりとして表記してある

評価の観点・方法

授業態度、提出物、準備物、実技、ペーパーテスト(年1回程度)を総合的に評価します。

<主な観点>

- ◇ 授業態度————学習課題(教材)にまじめに取り組んでいるか 遅刻せずに出席しているか
- ◇ 提出物————毎回きちんと出しているか
- ◇ 準備物————教科書やファイルなどを忘れずにもってきているか
- ◇ 実技————元気な声で歌えているか、音程やリズムがとれているか、正しい指づかい、曲の表情を表現できているか等

- 学習の最初と終わりで向上がみられるか(努力のあとがみられるか)

学習のポイント

授業に取り組む姿勢も評価に大きく影響します。真摯な態度で授業に臨むことを期待します。音楽大学等への進学を考えている生徒は、専門的な個人学習を受けることが必須です。課外講座の受講のほか、大学の先生や生徒を音楽大学等に進学させた実績のある声楽家・演奏家の先生などに個人学習を受けて技術の向上を目指してください。